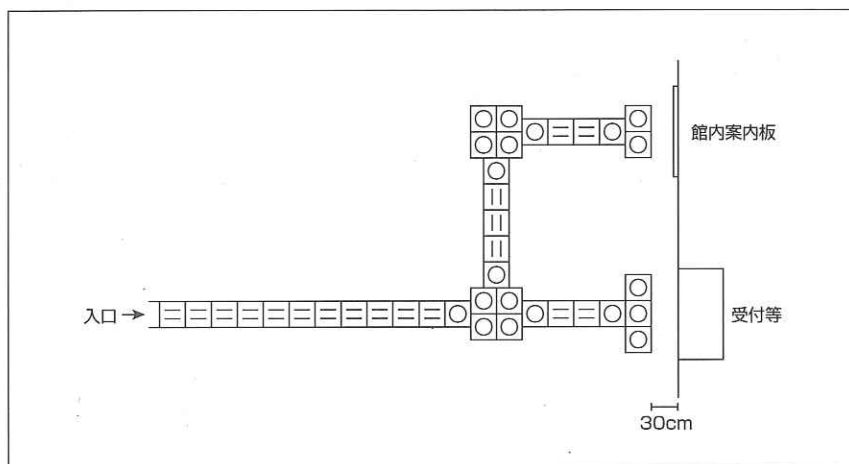


⑤受付カウンター、館内案内板等

▲受付カウンター、視覚障害者に対応した館内案内板、インターホン等を設置する場合は、出入口等からわかりやすい位置に設置するとともに、その位置まで誘導します。

▲点状ブロックは、目標物の30cm手前に敷設します。



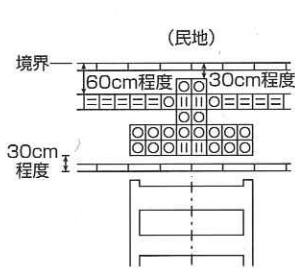
●歩道

①横断歩道口

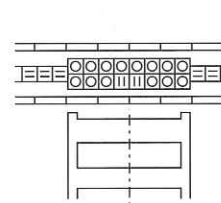
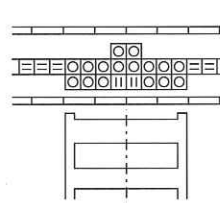
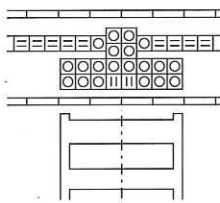
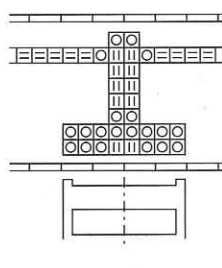
▲点状ブロックは、原則として、横断歩道の幅と同幅程度で車道との境界から30cm離れた位置に2列敷設します。ただし、先端の列で横断歩道の中心線を挟んで2枚分は、横断歩道の中心部であることと横断方向を確認できるように線状ブロックを敷設します。

▲歩道の進行方向から折れ曲がって横断歩道へ誘導する場合は、線状ブロックを2列にして敷設します。

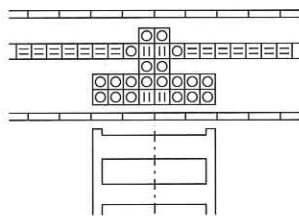
歩道幅員が広い場合



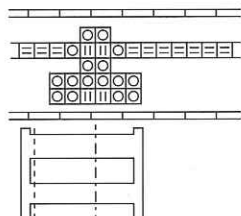
歩道幅員が狭い場合



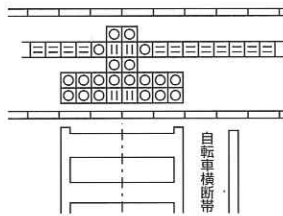
継続的直線歩行を案内している場合



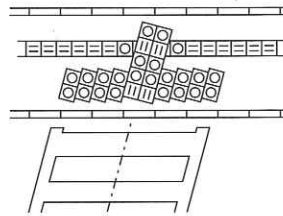
信号柱等の構造物がある場合



自転車横断帯がある場合

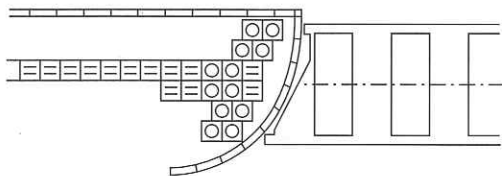


横断歩道が斜めの場合



②歩道巻込部

横断歩道がある場合



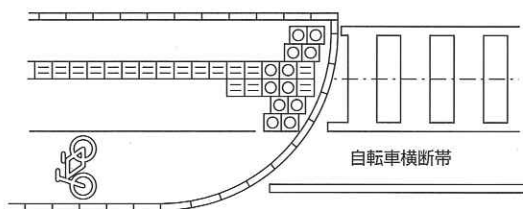
横断歩道がない場合



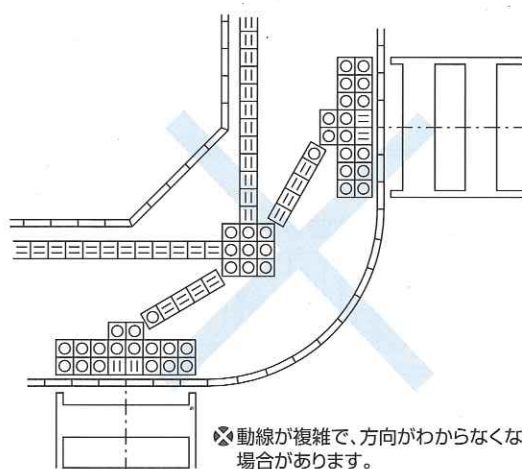
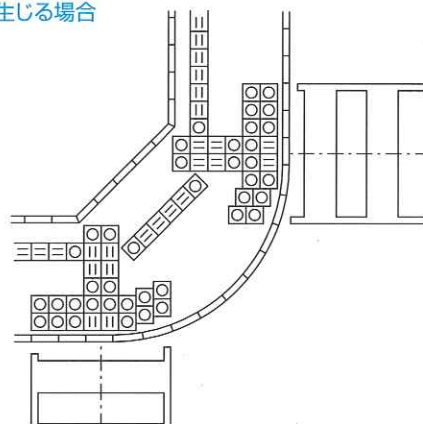
横断歩道がない場合（誘導ブロックが敷設されない場合）



歩道上、自転車の通行すべき部分が指定されている場合



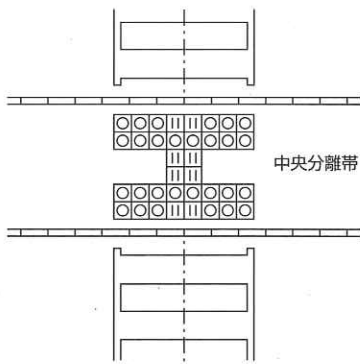
2方向に横断が生じる場合



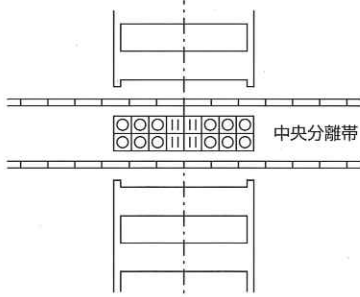
❌動線が複雑で、方向がわからなくなる場合があります。

③中央分離帯

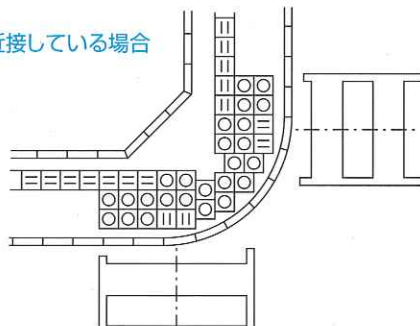
広い中央分離帯の場合



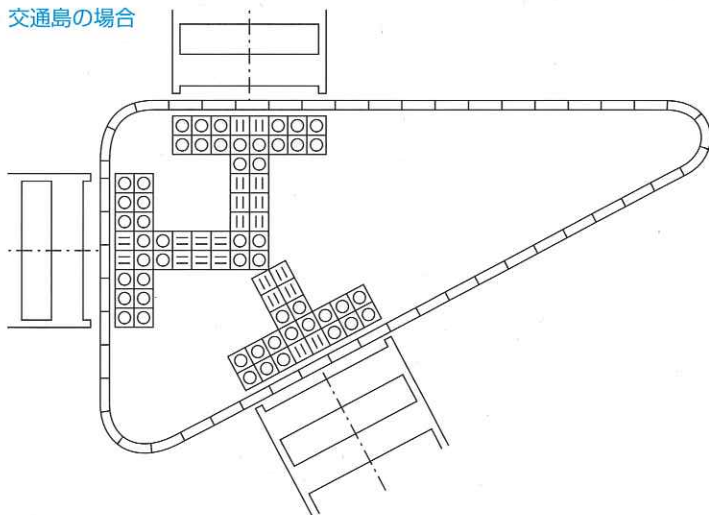
狭い中央分離帯の場合



横断歩道が近接している場合



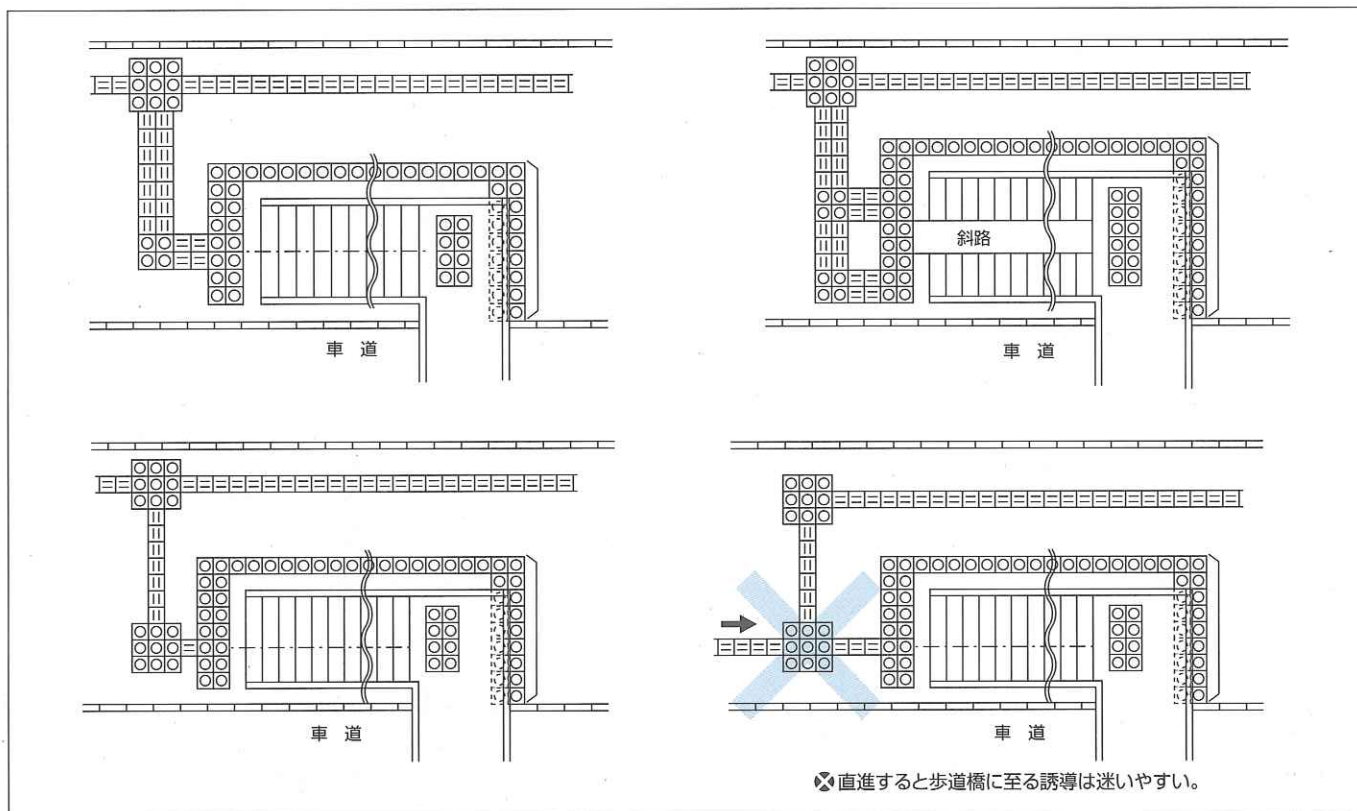
交通島の場合



④横断歩道橋の昇降口

⚠ 歩道橋への誘導は、歩道の進行方向から分岐するよう誘導します。

⚠ 歩道橋の階段下面に視覚障害者がもぐり込み、頭部等を強打する危険があることから、階段下面が2.5m以下の部分に柵等を設けるとともに、歩道橋の周囲に衝突を防止するための点状ブロックを敷設します。

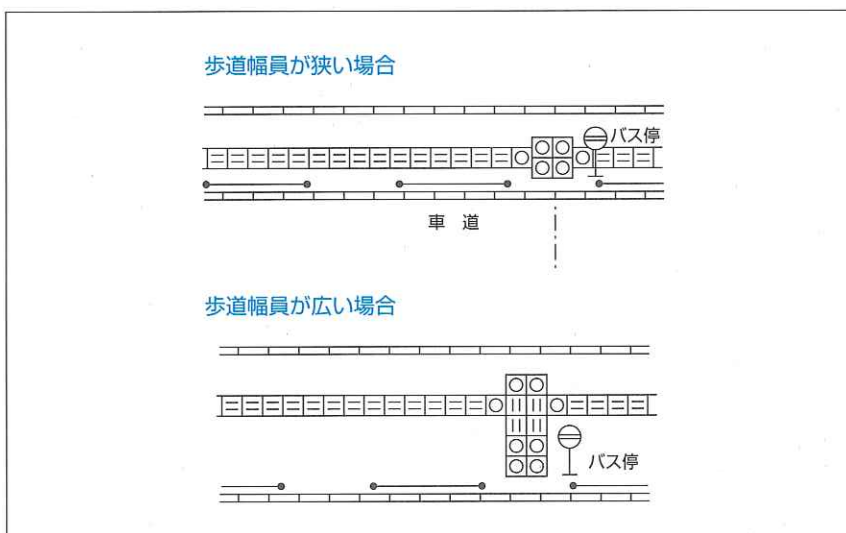


⑤バス停

⚠ バス停は原則としてバスの乗車口へ誘導します。

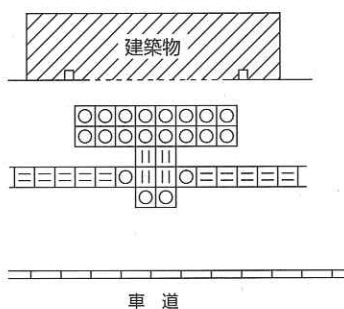
⚠ 誘導の方法は、歩道の進行方向から直角方向に線状ブロックを2列で敷設し、先端部分に点状ブロックを2枚×2枚敷設します。

⚠ バス停の上屋の柱や案内表示等が視覚障害者の歩行の障害物になる場合は、その手前に点状ブロックを敷設します。

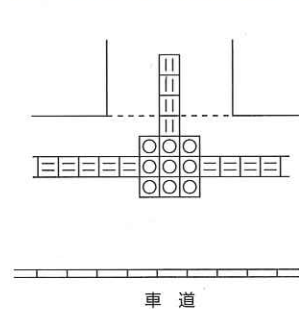


⑥建築物等の入口

建築物の出入口に直接进入の場合



建築物の敷地内通路と連結する場合



9 体験することから始めよう!①(車いす体験編)

実際に車いすの乗車や介助を自分で体験することは、障害者への理解を深め、思いやりの心を育むことへの第一歩です。近くにある車いすを借りて、グループ等で体験をしてみたいかどうか。
また、体験会をする場合は、車いすを使用している人に体験談などを話してもらうことも大切です。

《注意!!必ず守って下さい》

- ◇車いすへの乗り降りは必ずブレーキをかけて行うこと。
- ◇車いすは使用前にブレーキ、タイヤの空気、部品の取り付け状態等を点検すること。
- ◇悪ふざけや危険な行為は、絶対にしないこと。
- ◇道路などの危険な場所では、単独で行動をしないこと。
- ◇恐怖や危険を感じたら無理をしないこと。
- ◇階段や段差での介助は、車いすの介助に熟練した人の指導を受けてから行ってください。

●体験内容例

自力で走行したり、介助を受けたり、介助をしたりしてみましょう。

	体験項目	体験のポイント
建築物	出入口ドア	・開き戸、引き戸での開閉、幅、下枠の段差
	車いす用トイレ	・ドアの開閉、便器・器具等の配置、高さ、手すりの位置 ・障害者の使用の仕方や介助方法なども聞いてみるとよい
	エレベーター	・ボタンの位置、乗り降り、内部での回転、ドアの開く時間
	階段	・乗車した状態での上げ下ろし介助 ・大変危険なので、必ず介助熟練者の指導を受けて行うこと
	段差(2cm程度)	・どのくらいの段差まで通過可能か試してみるとよい
	段差(10cm程度)	・段差の乗り越え介助 ・必ず介助熟練者の指導を受けて行うこと
	通路	・直線部分、曲がり角部分などの通行に必要な幅 ・床面の材質(じゅうたん敷きとそれ以外の比較)
	スロープ	・勾配、長さ、手すりの位置
	その他	・受付カウンター、公衆電話、水飲み器、自動販売機、棚など
道路	歩道	・歩道の幅、傾き、舗装の状態、障害物など
	横断歩道	・車道と歩道の段差、道路の傾き、信号機の横断時間
公園	出入口	・車止め柵の幅、道路との段差
	園路	・園路の幅、傾き、路面の状態、障害物など ・通過困難な場所での介助方法
	その他	・公衆便所、公衆電話、水飲み器、自動販売機など

[P.34, 84(介助方法)参照]

●体験のあとは意見交換を

- ◇車いすの乗車や介助の体験を通して自分が感じたことやわかったことを記録しましょう。
 - ・人の応対や情報提供などの「ソフト面」や施設や器具・機材等の「ハード面」について、「良くできているところ」や「改善の必要があるところ」など。
- ◇参加者による意見交換をしましょう。
 - ・改善点や改善方法、高齢の方や障害のある方との接し方など。
 - ・障害のある方や介護熟練者と意見交換をすることもおすすめします。

■車いす乗車体験の様子

津山市「心のバリアフリー体験会」より



次のコラム P.182